情報入力シート＜病院情報＞

病院ロゴ		
病院名	沖縄病院	
薬剤部科URL	https://okinawa.hosp.go.jp/personnel/department/pharmacy/	
キャッチコピー	肺がんと神経難病の薬剤師業務を学べる病院	
学生へ メッセージ	沖縄病院では、感染制御、栄養サポート、緩和医療、糖尿病ではチーム医療が行われ、その他がん化学療法や神経難病治療、国が行う政策医療のである結核病棟、重症心身障害児（者）病棟（以下重心病棟）での医療について学ぶことが出来ます。環境面では交通の便に恵まれて商業施設も近くにあり、県外出身者にも生活しやすい環境となっておりライフワークバランスにも配慮しながら勤務することが出来ます。仕事もプライベートも充実しながら一緒に働きませんか？	
プロフィール	当院は、当時蔓延する結核に対する診療・療養施設として昭和23年8月に沖縄民政府公衆衛生部金武保護院として創設されました。その後、琉球政府立金武保護院、国立療養所沖縄病院、そして国立病院機構沖縄病院と名称変更され、2018年には新病棟を完成させ創立70周年を迎えました。 当院の2次医療圏としては、宮古・八重山地方を含む半径400km超を担当しており、沖縄全県からまた、社会的環境の影響から、米国籍の方ならびにアジアからの留学生などの患者さんも受け入れています。 提供する診療は主として、肺がんの外科・内科、神経・筋の難病、緩和医療、結核療養の4つを柱としています。肺がんについては、沖縄県最多の症例数（200例超の新規登録）を扱い「肺がんセンター」を掲げています。神経・筋難病については、現在も増加を続けている認知症、パーキンソン病棟などの神経難病に対応するための、「脳・神経・筋疾患研究センター」を設置しています。また、減少する結核患者数と政策、経営、そして2025年に完成させる国策でもある地域包括ケアシステムなどに対応し、2019年度には、結核病棟の一部を一般病棟に変更する結核ユニット化を、一般病棟1つを地域包括ケア病棟に再編成しました。さらに、治験・臨床研究を実直に展開してきた結果、2019年度には臨床研究部も設置されています。	
連絡先	０９８－８９８－２１２１　ご質問等あれば（薬剤部長、副薬剤部長など）へ	
アクセス	【車】那覇空港から約40分　【モノレール】てだこ浦西駅下車し、タクシーで約10分（計 約50分） 【バス】那覇空港から25番で約1時間那覇市内バスターミナルからバスで40分～50分 我如古バス停・中部商業前下車 約500メートル、県道34号線で沖縄病院前下車 約100メートル	
診療科目	【外科系】外科、整形外科、呼吸器外科 【内科系】内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科 【外科・内科系以外】緩和医療科、麻酔科、放射線治療科、放射線科、リハビリテーション科、病理診断科	
病床数	300床	
病院の特徴	神経筋研究センター、肺がんセンター、臨床研究部設置施設、ISO9001、学会等研修施設の認定（薬学生長期実務実習受け入れ施設、日本医療薬学会医療薬学専門薬剤師・がん専門薬剤師・薬物療法専門薬剤師・認定制度研修施設）	
アピールポイント	薬剤師業務を行いながら、治験関連業務を学べます	
研修施設	薬学生長期実務実習受け入れ施設、日本医療薬学会医療薬学専門薬剤師・がん専門薬剤師・薬物療法専門薬剤師・認定制度研修施設）	
薬剤師数	8人（1名欠員）	
薬剤師構成	（男女比）男性　3　：　女性　4	年齢構成　20代1名　30代2名　40代4名
認定資格・数	がん薬物療法認定薬剤師：1名、感染制御専門薬剤師：1名、NST専門薬剤師：2名、実務実習指導薬剤師：4名、GCPパスポート：1名	
臨床研究実績	【2021年度】論文（2報）、学会発表（9件）、【2022年度】論文（2報）、学会発表（7件）、【2023年度】論文（1報）、学会発表（3件）	
チーム医療活動	ICT・AST、NST、褥瘡、緩和ケア	
院内保育園（連携含）	☑ 有　☐ 無	